

今日1月15日は、良城小学校にとって、とても大切にうれしい日です。なぜなら、良城小学校のお誕生日だからです。学校の誕生日は、「開校記念日」と言います。

良城小学校は、今日で、なんと146歳になりました。

今から、146年前の明治6年の1月15日、この学校の基になる小学校が出来ました。

良城小学校は、はじめは何小学校と呼ばれていたか知っていますか？3年生はよく知っているかもしれませんね。

それは、「新町小学校」です。新町にある円政寺を借りて小学生に勉強を教えることになりました。これが、新町小学校、今の良城小学校のスタートです。

その頃の児童数は100人ちょっとだったそうです。

それから146年がたち、今では山口市で2番目に大きな小学校になりました。

小学校になる前の江戸時代にもこの良城小の場所には、吉敷のお殿様である吉敷毛利の学校がありましたよね。そう、校歌にも謳われている憲章館です。

憲章館からは明治維新で大活躍した立派な方々がたくさん出ています。

そして、その後も、良城小学校は世の中のために頑張ってくれたたくさんの人が育っているのです。

その中で皆さんもよく知っている大野将平さんのお話を今からしたいと思います。

皆さんの先輩だから大野先輩と呼びましょうね。大野先輩は、2年前のリオオリンピックの柔道で金メダルを取ったオリンピックチャンピオンです。

大野先輩は、今から14年前にこの良城小学校を卒業しました。小学生のころは、そんなに柔道が強くなかったそうですが、卒業して東京の学校に行ってから、すごく努力をしてどんどん強くなって、24歳の時にチャンピオンになりました。

先週、大野先輩のお母さんが校長室に来られて、大野先輩が使っていた日本代表の柔道着を学校に寄付していただきました。

校長先生も嬉しくて、早速、着させてもらいました。ずっしりと重い柔道着を着たら、なんだか自分も大野選手の力を分けてもらって、いろんなことができそうな気持ちになりました。

お母さんは、良城小の子供達にも是非、着させてあげてくださいと言っておられます。これから何日間かけて、後輩である児童の皆さんにも着てもらいますので、楽しみにしてくださいね。

今日は、良城小学校の146回目のお誕生日、開校記念日のお話をしました。おうちに帰ってから、開校記念日のこと、そして、大野選手や柔道着のことなどを、家族の皆さんにも伝えてくださいね。

「良城小学校の146回目の開校記念日おめでとう。」

以上で校長先生のお話を終わります。